

高嶋ちさ子

東京出身 ヴァイオリニスト

6歳からヴァイオリンを始め、桐朋学園大学を経て、1994年イェール大学音楽学部大学院修士課程アーティスト・ディプロマコースを卒業。1995年にCDデビュー。

フジテレビの軽部真一アナウンサーとの共同プロデュースによる「めざましクラシックス」は1997年に始まり、2012年には15周年を迎え、現在までに通算公演回数230回を超える人気コンサートとなる。2006年の自身のソロデビュー10周年時に企画・プロデュースし「12人のヴァイオリニスト」を立ち上げた。“観ても、聴いても、美しく、楽しいヴァイオリンアンサンブル”というコンセプトでクラシックの敷居の高さを払拭し、クラシック音楽やヴァイオリンをより身近に感じてもらえるように活動を行っている。

2006年の初コンサート以来、高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト名義で現在までに233本30万人規模のコンサートを開催し各地で好評を博す。また、コンポーザー・ピアニスト加羽沢美濃と組んだ「CHISA&MINO」、チェロとピアノ、高嶋ちさ子というトリオでお届けする「みんなのための音楽室～室内楽編～」、0歳からの「バギーコンサート」など、常にお客様の目線で考えられた楽しいコンサートを企画・プロデュースし、年間100本近いコンサートを毎年開催。2014年7月2日にはハッツアンリミテッド移籍第1弾アルバム「COLORS～Best Selection～」をリリース、クラシックチャートで第1位を獲得、同年9月からは全国コンサートツアー 高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト「COLORS」を開催。

2015年春には「live image 15 quinz」で「ディズニー・ファンタジア・コンサート」にライブナビゲーターとして出演した。



12人のヴァイオリニスト

ヴァイオリニスト高嶋ちさ子が、2006年に立ち上げた“観ても聴いても美しく楽しいヴァイオリン・アンサンブル”。コンサートでは、クラシックの名曲のみならず、様々なレパートリーを12本のヴァイオリン・アレンジで演奏する。個性豊かなメンバーがステージを彩り、お客様に参加して頂くオリジナルコーナーや振り付けを加えた演奏など、ヴァイオリンという楽器をより身近に感じ、楽しんで頂けるようなコンサート作りを目指している。

これまでに7枚のアルバムをリリース、2014年には8枚目となる、結婚式で聴きたい曲を集めた「LOVESTORIES～Wedding Song on Violin」を日本コロムビアから発売。幅広い世代に愛されている女性だけのヴァイオリン・アンサンブルである。

オフィシャル HP <http://www.12violinists.com>

オフィシャルブログ <http://ameblo.jp/12vln>



村松亜紀

ピアニスト

4歳からピアノを始め、これまでにマイヤー兼松り子、田辺緑、奈良場恒美、練木繁夫の各氏に師事。桐朋学園音楽学部、同大学研究科修了。第71回日本音楽コンクール第3位。2005年松方ホール音楽賞大賞受賞。2007年より高嶋ちさ子12人のヴァイオリニストのアカンパニストとして参加、活動するなど多くのアーティストと年間100本近いコンサートを行っている。ソリストとしては、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団と共演した。現在も室内楽コンサート、リサイタル、またテレビ、ラジオ、CDでアンサンブルピアニストとして国内外のアーティストと多数共演している。

HATSレーベル
移籍第2弾アルバム

高嶋ちさ子「Strings on Fire」

Now
On
Sale

収録
楽曲

1. Big Wave (作曲：高嶋ちさ子/伊賀拓郎)
2. リベルタンゴ (作曲：アストル・ピアソラ)
3. ブライト・フューチャー (作曲：高嶋ちさ子/伊賀拓郎)
4. カンタービレ (作曲：パガニーニ)
5. いつか二人で (作曲：高嶋ちさ子)
6. ラプソディ・イン・ブルー (作曲：ガーシュウィン)
7. 彼こそが海賊 (バイレーツ・オブ・カリビアンより) (作曲：ハンス・ジマー)
8. ツィゴイネルワイゼン (作曲：サラサーテ)
9. 交響曲第9番「歓喜の歌」 (作曲：ベートーヴェン)
10. 主よ人の望みの喜びよ (作曲：バッハ)
11. 交響曲40番 (作曲：モーツァルト)
12. ユー・レイズ・ミー・アップ (作曲：ロルフ・ラヴランド)



【通常盤】(CD)HUCD-10188 ¥3,000+税



岸本育史 (NARUTO-ナルト- 作者)
描き下ろしスペシャル・ジャケット